

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	教育部次長兼教育総務課担当課長 齋藤 和徳	
教育-09 社会教育運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	多様な学習機会の提供と学習成果の活用

1 事業の目的

対象	市民等
意図	「生きがい」や「自己の実現」のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加の促進など、豊かな地域づくりを目指すため。
効果	「誰もが、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会を構築する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議を開催した。</li> <li>・社会教育振興事業など、社会教育全般に係る事務を行った。</li> <li>・教育文化施設建設の財源に充てるための基金を運用した。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	1,237人		1,392人		事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	4,403	9,951		当初予算(千円)	8,939		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	1,718	6,329		その他	4,977		
	一般財源	2,685	3,622		一般財源	3,962		
	人員配置数	0.6	0.6		人員配置数	0.6		
	人件費(千円)	4,565	4,566		人件費(千円)	4,647		
事業運営	総事業費(千円)	8,968	14,517		総事業費(千円)	13,586		
	市民1人当りの経費(円)	51	82		市民1人当りの経費(円)	77		
	対象者1人当りの経費(円)	7,250	10,429		対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉シティプラス、鎌倉ジュニアオーケストラ等
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 現在取組んでいる事業は、市民のニーズも高く、毎年多くの参加者を集めている。PTA関連の行事にも、多くの保護者が参加しており、現状維持とする。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	子ども関連事業には、毎年多くの参加者があり、中には抽選をして参加者を選んでいる事業もある。また、PTA関連の行事には、多くの保護者、教職員が参加、交流し、子どもたちのよりよい成長の一端を担っている。今後も、事業を継続することで、鎌倉の未来を担う子どもたちの成長を援助していきたいと考えている。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	社会教育担当職員が少ない中、効率的な運営により、現存の事業を継続させていくことを優先とする。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	写生大会、ウィンターコンサート、かまくらこどもコンサートの3つの事業において、事業の効率化を図るとともに、市民のニーズにあった学習機会の提供に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	3回の主催事業					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
子どものより多くの学びの機会	目標値	750	750	750						
	実績値	755	995							
	達成率	100.7%	132.7%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--